

令和6年度発行「書道Ⅲ」シラバス案

書道Ⅲ	単位数	2単位
	学科・学年・学級	〇〇〇〇科 第〇〇学年 〇〇組

1 学習の目標

学習の目標	<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書・副教材等	東京書籍「書道Ⅲ」

2 学習計画

(1) 年間指導計画案

月	分野	学習内容 (教科書の構成)	教科書 頁	配当 時数	学習活動例	学習指導要領の 内容
四月	漢字の書	書的美を深める 書道史地図	口絵 1			B(1) ア(ア)、イ(イ)
		篆書の美	2-3	1	・書道Ⅰ・Ⅱの篆書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、篆書の美の多様性について理解を深める。	A(2) ア、イ、ウ B(1) ア(ア)、 イ(イ) (イ) (ウ) 共通事項(1) ア、イ
		「散氏盤」 「詔版」 「篆書張茂先勵志詩」 鑑賞－書的美や風趣を味わおう－	4-7	6	・書道Ⅰ・Ⅱの篆書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、篆書の美の多様性について理解を深める。 ・篆書の古典の概要について理解して臨書し、篆書の美を創造的に表現するための技能を身に付ける。 ・篆書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合う。	
九月	漢字の書	隷書の美	8-9	1	・書道Ⅰ・Ⅱの隷書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、隷書の美の多様性について理解を深める。	A(2) ア、イ、ウ B(1) ア(ア)、 イ(イ) (イ) (ウ) 共通事項(1) ア、イ
		「里耶秦簡」 「萊子侯刻石」 「石門頌」 鑑賞－書的美や風趣を味わおう－	10-13	6	・書道Ⅰ・Ⅱの隷書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、隷書の美の多様性について理解を深める。 ・隷書の古典の概要について理解して臨書し、隷書の美を創造的に表現するための技能を身に付ける。 ・隷書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合う。	

四月	漢字の書	草書・行書の美	14-15	1	・書道Ⅰ・Ⅱの草書・行書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、草書・行書の美の多様性について理解を深める。	A(2) ア、イ、ウ B(1) ア(ア)、 イ(イ) (イ) (ウ) 共通事項(1) ア、イ
		「喪乱帖」 「草書千字文」 「李太白憶旧遊詩卷」 「前後赤壁賦」 コラム：書論 三跡－和様の書ハ－ 鑑賞－書の美や風趣を味わおう－ コラム：日中書道の交流	16-27	10	・書道Ⅰ・Ⅱの草書・行書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、草書・行書の美の多様性について理解を深める。 ・草書・行書の古典の概要について理解して臨書し、草書・行書の美を創造的に表現するための技能を身に付ける。 ・草書・行書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合う。	
五月	漢字の書	楷書の美	28-29	1	・書道Ⅰ・Ⅱの楷書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、楷書の美の多様性について理解を深める。	A(2) ア、イ、ウ B(1) ア(ア)、 イ(イ) (イ) (ウ) 共通事項(1) ア、イ
		楷書 「爨宝子碑」 「天柱山遊息題字」 「賢愚経（大聖武）」 鑑賞－書の美や風趣を味わおう－	30-33	6	・書道Ⅰ・Ⅱの楷書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、楷書の美の多様性について理解を深める。 ・楷書の古典の概要について理解して臨書し、楷書の美を創造的に表現するための技能を身に付ける。 ・楷書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合う。	
		創作－名言・名句を書こう－ 鑑賞－書の美や風趣を味わおう－	34-37	7	・創作の手順に従い、書道Ⅰ～Ⅲの漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、主体的な構想に基づいて創作し、相互評価をする。 ・現代の革新的な表現の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合う。	
十月	篆刻・刻字	落款の書き方と用印法	38-41	2	・創作の手順に従い、書道Ⅰ～Ⅲの漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして、主体的な構想に基づいて創作し、相互評価をする。	A(2) ア、イ、ウ B(1) ア(ア)、 イ(イ) (イ) (ウ) 共通事項(1) ア、イ

十月	仮名の書	院政期以降の仮名の美 －爛熟から様式化へ－	42-43	1	・書道Ⅰ・Ⅱの仮名の書の学習を踏まえて古筆を鑑賞し、平安時代末期から鎌倉時代にかけての仮名の書について理解を深める。	A(3) ア、イ、ウ B(1) ア(ア)、 イ(イ) (イ) (ウ)
		「本阿弥切古今和歌集」 「中務集」 「秋萩帖」 「桂本万葉集」	44-47	8	・書道Ⅰ・Ⅱの仮名の書の学習を踏まえて古筆を鑑賞し、平安時代末期の仮名の書について理解を深める。 ・仮名の書の古筆の概要について理解して臨書し、仮名の美を創造的に表現するための技能を身に付ける。	
十二月		鑑賞－書的美や風趣を味わおう－ 創作－大字仮名を書こう－ コラム：寛永の三筆	48-53	7	・創作の手順に従い、書道Ⅰ～Ⅲの仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を生かして、主体的な構想に基づいて大字仮名の作品を創作し、相互評価をする。 ・仮名の古筆の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古筆を生かした創造的な表現について話し合う。	A(3) ア、イ、ウ B(1) ア(ア)、 イ(イ) (イ) (ウ)
一月 ～ 三月	漢字仮名交じりの書	創作 －自己表現① 大切にしている言葉を書こう－ －自己表現② 表装形式を工夫しよう－ －自己表現③ 大作に挑戦しよう－ 鑑賞－書的美や風趣を味わおう－ コラム：書の広まり 書とともに歩む	54-65	13	・書道Ⅰ～Ⅲを踏まえ、目的に合わせた書体や書風や紙面構成について考えたり、表装形式や飾り方、作品の大きさを工夫したりするなど、個性的で創造的な表現の追求について考える。 ・書道Ⅰ～Ⅲを踏まえ、書体や書風、用具用材、紙面構成や、表装形式や飾り方、作品の大きさなどについて、表現の意図に応じて主体的に選択し、創造的な作品制作に取り組む。 ・自らの思いを表現するために様々な技法を駆使した現代の作品を鑑賞し、個性的で創造的な表現について話し合う。	A(1) ア(ア) (イ) (ウ)、 イ(イ) (イ)、 ウ(ウ) (イ) B(1) ア(ア) (イ)、 イ(イ) (イ) (ウ) (エ) 共通事項(1) ア、イ
	資料	中国・日本書道史	66-69			B(1) イ(イ) (ウ)

評価	<p>評価は具体的に次のものを対象にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現を工夫して表した成果（作品） ・表現の意図・構想・表現の工夫の取り組みの記録（ワークシート等） ・考えたことや意見交換の記録（ワークシート等） ・発言（活動の様子）と、その記録（ワークシート等） ・作品制作への取り組み状況（活動の様子） ・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意見発表等） <p>一年間の評定は上記の内容を総合的に判断する。</p>
----	---